

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校
「指定校における取組事例」

学校名	広島県立大竹高等学校	校長	流田 靖	担当者名	岡本 茂生
-----	------------	----	------	------	-------

取組事例名 『体育的行事』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	----------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

- 各学年によるコミュニケーション能力の育成
- 主体的な活動としての積極的実践力
- 共感的理解と人間関係の形成

取組のねらい

- クラスの一員としての所属意識を高め，自己存在感に気づく。
- 集団の中で自分の責任を果たし，積極的に活動する。
- 他者とのかかわりを意識して，公正・安全に競技する。

取組の具体的内容

- 体育祭
 - ・縦割りのチーム構成による団体競技
 - ・「つなぐ」を意識したバトンプラス競技
 - ・ザ・ガマン
 - ・縄跳びギネスに挑戦



- 球技大会
 - ・年間3回の競技計画でソフトボール・バレー・サッカー
バスケット以外にソフトバレー・ドッジボール・3×3バ
スケ・フットサルの新競技を実施



取組の創意工夫

- ※身体接触や密のない競技を精選
- ※生徒同士の繋がりを意識し，新種
目クラス対抗駅伝を導入。
- ※3年生による色別応援
- ※教員チームの競技参加
- ※個人競技に「忍耐力」を表現する
種目の追加
- ※行事縮小分は回数を増やしカバー
- ※体育委員による大会運営
- ※クラス生徒が必ず出場するルール
- ※マスコットキャラクターを募集，
視覚的効果による意欲向上を図る

取組の成果と課題

- 競技運営に対して生徒同士で支え合い，協力的に実施することができた。
- ケガの未然防止に向けた，競技の種類・運営方法を改善することが課題である。
- 生徒の満足度が95%以上であった。
- 生徒の自主性を引き出す仕掛けづくりが必要である。